

病名： アレルギー性鼻炎

術式： 炭酸ガスレーザーによる下鼻甲介粘膜焼灼術

目的： アレルギー反応の結果腫脹した下鼻甲介粘膜を炭酸ガスレーザーにて、焼灼します。粘膜の減量と神経・分泌腺などを変性させることで、アレルギー反応(応答)が起こりにくくなることを目的とします。

内容： ①痛みどめ・・・麻酔の薬をしみ込ませたガーゼを鼻内に留置します。

②レーザービームで、下鼻甲介粘膜を焼灼します(5～10分)。

③出血が多いときは、止血ガーゼを鼻内に留置します。

経過： ①手術当日～翌日

鼻汁が一時的に増えて鼻がつまります。血が混じることがあります。
痛みの出る人もいます。

②術後3日目ぐらいから

鼻症状が楽になってきますが、しばらくは鼻づまりと鼻汁が続きます。

③約2週間で、

鼻粘膜が癒痕化して、よい状態になり、症状がでにくくなります。

手術後におこること：

① 出血：止血ガーゼなどの処置で止血します。

② 痛み：痛み止めの内服薬を使って抑えます（多くは頓服でよい程度）

その他

① 約80%のかたに、効果があります。

② 人によっては、数ヶ月で元の状態の粘膜にもどってしまい、再手術あるいはもうすこし大きな手術が必要になることがあります。

手術しなかった場合におこること

① アレルギー性鼻炎のさらなる悪化と遷延化

手術をうけなかった場合に選択できる変わりの治療法

① 内服薬・外用スプレーによる治療

② 特異的免疫療法（減感作療法）